

令和 4 年度 学校評価シート

学校名：和歌山県立粉河高等学校全日制 校長名：城 秀 憲

目指す学校像・育てたい生徒像（スクール・ポリシー等に基づいて記載する）

生徒や保護者、地域から信頼される安全で安心な、活力のある学校
主体的に学び、他者と協働して地域や社会に貢献し、市民として信頼される生徒

学校評価の公表方法

学校評価は、学校運営協議会で公表する。
学校評価シートは、本校ホームページで公表する。

現状・進捗度

A	十分に達成している。	(80%以上)
B	概ね達成している。	(60%以上)
C	あまり十分でない。	(40%以上)
D	不十分である。	(40%未満)

自己評価（分析、計画、取組、評価）

番号	計画・取組			評価（3月10日現在）			
	重点目標	現状	具体的取組	評価項目と評価指標	進捗度	進捗状況	今後の改善方策
1	規則の遵守や礼儀・マナーを重視した指導を行い、規範意識を高める。	B	毎朝の校門指導で服装・頭髪指導を行うとともに挨拶の励行や遅刻の防止指導を行う。	今までの取組を継続し、規範意識をさらに向上させることができたか。	A	規範意識を向上させることができてはいるが、今後も取組を継続する必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・服装・頭髪指導や挨拶の励行、遅刻の防止指導は、粘り強く指導を継続する。 ・交通安全教育の充実と徹底を図り、意識を醸成する。 ・校内美化については、役割分担をより詳細に行う。 ・スマートフォン等の利用については、情報モラル教育を継続し、指導を徹底する。
			電車内を含めた通学マナーの向上や、校内美化の徹底を図り、市民性を育成する。	社会や地域の一員としての自覚を持たせる指導ができたか。	B	通学マナーを向上させた。校内美化については、更なる取組が必要である。	
			SNSの利用等、情報モラル教育を推進する。	スマートフォン、SNS等の利用マナーを守る指導が徹底できたか。	A	スマートフォン等の利用については、特に大きな課題はなく、指導が徹底できた。	
2	生徒の進路実現のため、キャリア教育を充実させるとともに、基礎学力を定着させ、応用力を養成する。	B	外部の人材等を活用し、「総合的な探究の時間」でのキャリア教育の取組を充実させる。	進路実現に向けて、生徒の主体的な取組となっているか。	A	計画的に外部人材を活用し、職業分野や上級学校について、主体的に考えさせることができた。	<ul style="list-style-type: none"> ・3年次「総合的な探究の時間」については、改編を行い、キャリア教育の一層の充実を図る。 ・ICTを活用した授業展開については、各教科内での情報交換や教材共有が有効であり、今後も継続して取組を行う。 ・3年生だけでなく、1、2年生の早い段階から実力テスト等の受験を促し、進路意識の向上を図る。
			ICTを活用した授業を推進するとともに、教員の授業力向上を図る。また、家庭学習の習慣を確立する取組を行う。	ICTを積極的に活用した授業を展開できているか。また、家庭学習用の課題等が適切に課されているか。	B	ICTを活用した授業や課題の配信については、中核的な教員が積極的に取り組むことによって広がりを見せている。	
			実力テスト等の積極的な受験を促し、結果の分析及び活用を徹底することで、進路実現に向けた意識の向上を図る。	受験者数の割合を例年以上に増加させ、結果を有効に活用できているか。	B	個々の進路に応じ、実力テスト等の受験や、補習、講座等の積極的な参加を促すことで、進路実現につなげた。	
3	部活動や学校行事の生徒の主体的な取組を通して、学校をさらに活性化させる。	B	1年生の全員部活動登録を継続させる。一部の部では複数登録を認め、活性化を図る。	加入率75%以上を維持するとともに、さらなる活性化につなげているか。	A	部活動加入率は、運動部48%、文化部45%で計93%である。全国大会等に出場したクラブが増加した。	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生の全員部活動登録を継続し、部活動を通じた活力ある学校づくりを推進する。 ・積極的に休養日を設け、生徒の学習や健康に配慮した部活動を今後も計画に行い、部活動の充実を図る。ながら、部活動の充実を配慮しながら、より充実した学校行事の実施に向け、工夫・改善を図る。
			部活動を効率的・効果的に行い、文武両道を推進する。	積極的に休養日を設け、家庭学習の時間を確保しているか。	A	文武両道を推進し、休養日を適切に設け、活動計画に沿った活動を行った。	
			学校行事等を精選し、地域等と協働しつつ、充実を図る。	学校行事等は計画的で全体の取組になっているか。	B	制約はあったが、文化祭、体育祭等の主要な行事は安全に実施することができた。	
4	地域と連携・協働し、学校行事等を通して市民性を育てる教育を推進する。	B	地域や関係機関と連携し、「総合的な探究の時間」での地域探究の取組を充実させる。	地域とともに、地域に学ぶ取組が推進されているか。	A	現地学習やインターネットなどICTを活用した地域探究の取組を行った。	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中で、地域との連携・協働に制限があったが、状況を見極めつつ、実施可能な活動を積極的に推進する。 ・KOKÔ塾の活動については、より有意義なものとなるよう改善を図る。 ・学校の教育活動全般において、今後も市民性を育てる教育を推進する。
			新たな体制を整えたKOKÔ塾の更なる活性化を図る。	広報活動などを通して、参加人数の増加と内容の充実が図られているか。	B	制約がある中での活動であったが、4つの班が各々工夫した活動を行った。	
			活動に支障はあるが、ボランティア活動を再開させていく。	安全対策を徹底し、積極的に参加できているか。	B	ボランティア活動については、徐々に活動の幅を広げ、実施することができた。	

学校関係者評価（12月23日実施）

・生徒による学校評価の結果について、全項目において「A：そう思う」「B：どちらかというと思う」を合わせた肯定的評価が概ね80%を超え、総じて高い評価である。特に、「明るく生き生きと充実した学校生活を送れているか」「学校生活は将来のために有益か」「生徒会や部活動に熱心に取り組んでいる生徒が多い」「進路に関する情報をよく提供しているか」は95%を超えている。

・PTA役員による学校評価の結果について、全項目において概ね高い評価であるが、「日常の教育活動に、保護者や地域の意見が取り入れられているか」「学校行事等で充実した体験活動などが行われているか」「施設や設備は充実しているか」については、より充実した取組が必要である。

・学校の教育活動の広報として、学校ホームページやインスタグラム（図書館、KOKÔ塾等）は、更新の頻度が高く内容も充実しており、高い評価を得ている。